

- (一) 川誠『時間の使い方』を科学するによる。)
- (注) 自我防衛機制……自分自身の心理的な安定状態を保つ作用。
- (一) 文中ア——エ——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。
- (二) 文中□に当たる語として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。
- ア けれども イ すなわち ウ そのため エ たとえば
- (三) 文中A——「その本の内容が、自分の関心から外れたものである上、面白みに欠けることがわかつたとしましよう」とありますが、経済的合理性に基づいて判断する場合、どのように対処するのがよいと筆者は述べていますか、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。
- ア 読むことを断念し、そこまでの内容で満足感を得るようにする。
イ 読むことをやめ、それ以上この本に時間をかけないことにする。
ウ 最初から読み返し、この本の内容を深く理解できるよう努力する。
エ しばらく読み続け、この本から別の面白さを得ることを期待する。
- (四) 文中B——「もつとも、経済的合理性だけ追求していれば、最大の満足が得られるというわけでもありません」とあります、この一文が果たす役割として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。
- ア これまでの主張とは異なる側面があることを提示する役割。
イ これまでの主張に現実的な場面での具体例を付け足す役割。
ウ これまでの主張の間違いを認めて改善点を考えさせる役割。
エ これまでの主張を裏付ける事実に少しづつ導いていく役割。
- (五) 文中C——「経済的合理性の追求も満足感の追求も、さまざまな解があり得ます」とありますが、つまらないと思った本でも、読み続けた場合には、具体的にどのようなことを得る可能性があると筆者は述べていますか、六十字以内でまとめて書きなさい。
- (六) 本文を読んであなたが考えたことや感じたことを、自分の経験と結び付けて、百二十字以上、百六十字以内で書きなさい。

二 次の文章を読んで、後の(一)~(四)の問いに答えなさい。

病気の同僚に代わり、勤務時間外まで働く「私」は、店長に「休む」とも仕事のうち」と指摘された。そのときは納得がいかなかつたが、その後の同僚の言葉をきっかけに自分を省みるようになり、家に帰つてからも、働くことについて考え込んでいる。

(一) 文中A——「働くことも、同じなんぢやない?」とあります
「私」は、働くことと勉強とのどのような点が同じかもしれないと考えた
のですか、次のア~エから最も適切なものを選びなさい。

ア 内気な性格ではやつていけないほど、厳しいものであるという点。
イ ただすればよいものではなく、深く向き合ふべきものだという点。
ウ たとえ忙しくても、何も考えずに行わなければいけないという点。
エ 全くどちらとも言ふべくないもので、上手に表現しきれないという点。

(二) 文中B——「いつしかそれが目的じゃなくなつていた気がする」と
ありますが、このことを次のように説明するとき、□①、□②に
当てはまる最も適切な表現を、本文からそれぞれ四字で抜き出して、
書きなさい。

忙しく働いているのは、もともと□①を補うためであつた
が、いつの間にか、仕事についてきちんとと考えないでいられる
ような□②を手にするためへと変化していたのかもしれないと、
「私」は考えた。

(三) 文中C——「あたたかな涙が流れた」とありますが、このとき
「私」はどのような気持ちになつたと考えられますか、「働くこと」、
「他人の人生」という語句を用いて、書きなさい。

(四) 本文全体の表現の特徴として、次のア~エから最も適切なものを選び
なさい。

ア 過去形と現在形を混ぜながら思考が行き来する様子を効果的に描
き、決意が固まつたことを断定表現で強調している。

イ 改行や?を活用することで優柔不斷な性格を描き、次第に悩み
を深めていくさまを対比を使って効果的に表している。

ウ ()や:を用いることで揺れ動く心情を描き、最終的に心が
安定していく様子を比喩を交えて巧みに表現している。

エ カタカナ表記を取り入れながら若者の現状を巧みに描き、読者が
「私」の夢を共有できるよう反復表現で訴えかけている。

三 次の文章を読んで、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

九月ばかり、夜一夜降り明かしつる雨の、今朝はやみて、

朝日いとけざやかにさし出でたるに、前栽の露は、こぼるばかり濡れかかりたるも、いとをかし。透垣の羅文、

軒の上などは、かいたる蜘蛛の巣の、こぼれ残りたるに、

雨のかかりたるが、白き玉を貫きたるやうなるこそ、

いみじうあはれにをかしけれ。

すこし日が高くなると、たけぬれば、萩などのいと重げなるに、露の落つるに、枝うち動きて、人も手触れぬに、ふと上ざまへ

あがりたるも、いみじうをかし、と言ひたる事どもの、人の心にはつゆをかしからじ、と思ふこそ、またをかしけれ。

(『枕草子』による。)

(注) 前栽……庭に植えた草木。

透垣の羅文……板または竹で間を透かして作った垣根の、上部の飾り。

(一) 文中A——「あはれにをかしけれ」を現代仮名遣いで書きなさい。

(二) 文中A——「さし出でたる」の主語を本文から抜き出して書きなさい。

(三) 文中B——「蜘蛛の巣」とあります。作者は、壊れた蜘蛛の巣に雨粒が付いた状態を、どのようであるとたとえていますか、現代語で書きなさい。

(四) 文中C——「またをかしけれ」とありますが、作者は、どのようなことについて「をかし」と述べていますか、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 人が手を触れなくとも露が落ちると枝が上に動くが、そのことをおもしろいと感じるのは自分だけなのだろうと考えること。

イ 人が手を触れなくても露が落ちて枝が上下に動くが、そこにおもしろさを感じるのは人間だからこそであろうと考えること。

ウ 人が手を触れなくとも枝の力で露が跳ね上がるが、そのことをおもしろいと感じない人は変わり者に違いないと考えること。

エ 人が手を触れなくとも枝にある露が跳ね上がるが、そこにこそ子どもには分からぬ自然のおもしろさがあるのだと考えること。

四 次の文章は、海辺に住む男について述べた話である。これを読んで、後の(一)～(三)の問い合わせに答えなさい。

毎旦之ニ海之上、従漁鳥游。漁鳥之至者、百住而不懈止。其父曰、吾聞、漁鳥皆従汝游。汝取來。吾玩之。明日之ニ海之上、漁鳥舞。而不懈下也。

(『列子』による。)

(一) 文中——「其父曰」とありますが、男の父親の言葉は文中のどこまでになりますか、終わりの三文字として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。なお、選択肢では送り仮名や返り点は省略しています。

ア 従汝游
イ 汝取來
ウ 吾玩之
エ 不下也

(二) この文章からどのようなことが言えると考えられますか、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 仲間の多さを誇ると、周囲から激しく非難されてしまうものだということ。

イ 良からぬことを考えたりすると、相手に伝わってしまうものだということ。

ウ 親の言いつけを守れば、多くの人が必ず自分の味方になるものだということ。

エ 他人の考えを尊重することは、最終的に自分のためになるものだということ。

書き下し文（設問の都合上、「」や「」を一部省略してある。）

毎旦海上に之き、漁鳥に従つて游ぶ。漁鳥の至る者、百住にして止まず。其の父曰はく、吾聞く、漁鳥皆汝に従つて游ぶと。汝取り来れ。吾之を玩ばんと。明日海上に之くに、漁鳥舞ひて下らざるなり。

(注) 每旦……毎朝。

住……「数」と同じ意味。

汝……お前。

玩……自分のものとし、思いのままに扱う。

五 次の(一)、(二)の問い合わせに答えなさい。

(一) 次の①～④の一の平仮名の部分を漢字で、または漢字に送り仮名を付けて書きなさい。

- ① セー~~タ~~ーをあむ。 ② 強い精神力をやしなう。
- ③ 手紙をゆうびんで送る。 ④ 夏と冬でかんだんの差が大きい。

(二) 花子さんのクラスでは、友人について皆に紹介するという活動を行いました。次のIは、この活動の中での、花子さんと太郎さんの対話の一部で、IIは、花子さんが太郎さんを紹介したものです。これらを読んで、後の①～③の問い合わせに答えなさい。

I

花子さん	太郎さんの趣味を教えてください。
太郎さん	私は本を読むことが好きです。図書館にもよく行きます。
花子さん	そうですか。どのような種類の本が好きですか。
太郎さん	小説を読むことが多いですが、なかでも海外の小説が好きです。私は外国に行つたことがないのですが、舞台となつている風景の描写を読むと想像が膨らみ、登場人物とともに、まるで自分もその場にいるような気分になります。
花子さん	B なるほど。ほかにはどのような本が好きですか。
太郎さん	花子さん A それですね。海外の写真集が多いですか。
花子さん	太郎さん そうですね。海外の街並を写したもののが好きです。
花子さん	花子さん なるほど。ということは、本も好きだけど、海外の風景や外國そのものへの憧れもあるということでしょうか。
太郎さん	太郎さん 確かにそうですね。よく考へると、花子さんの言うとおりかもしれません。自分であまり意識していませんでした。

II

これから太郎さんの紹介をしたいと思います。
太郎さんは本を読むことが好きで、図書館にもよく行くそうです。
小説を読むことが多いそうですが、特に海外の小説が好きだということがあります。その理由は、舞台となつている風景を想像することで、自分もその場にいるような気分になるからということです。また、将来は、ヨーロッパやアジアの国々に行つたり、現地の言葉で多くの小説を読んだりしてみたいと語ってくれました。

質問を通して、太郎さんは本も好きだけど、外国そのものへの憧れももつているのではないかと感じました。そのことを太郎さんに尋ねてみると、太郎さんも納得していました。海外の街並みや写真集なども好きだということです。また、将来は、ヨーロッパやアジアの国々に行つたり、現地の言葉で多くの小説を読んだりしてみたいと語つてくれました。

※

質問を通して、太郎さんは本も好きだけど、外国そのものへの憧れももつているのではないかと感じました。そのことを太郎さんに尋ねてみると、太郎さんも納得していました。海外の街並みや写真集なども好きだということです。また、将来は、ヨーロッパやアジアの国々に行つたり、現地の言葉で多くの小説を読んだりしてみたいと語つてくれました。

① A――、B――は、それぞれどのような役割をもつ質問ですか、その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つずつ選びなさい。

ア 話の流れを止めて、発言の意図を説明させる質問。

イ 相手の答えを受けて、具体的な例を述べさせる質問。

ウ 相手の答えに疑問をもち、論理の矛盾を追及する質問。

エ 話の流れを踏まえ、肯定か否定かの答えを聞き出す質問。

② IIの最後に、花子さんは質問を通して感じたことを述べています。

Iをもとに、□にふさわしい内容を考え、書きなさい。

③ ※の部分の内容には、Iに含まれていない情報が入っています。花子さんはどのような質問をして、この情報を得たと考えられますか、質問文を考えて、書きなさい。

平成29年度

群馬県公立高等学校

入学者選抜学力検査問題

五語
玉

(後期選抜)

注意事項

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は、すべて、解答用紙に記入すること。
- 3 「やめなさい。」の指示があったら、直ちに筆記用具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は、1ページから7ページまであります。
- 5 解答用紙の、小計の欄には何も書かないこと。